



こちら、よんひがしです。

近畿中央病院
産婦人科病棟
2014年03月号
VOL. 17

赤ちゃんの予防注射について

今回は子供のワクチン（予防注射）のお話です。子どもの病気にはワクチンで予防できる病気があります。

ご出産後は接種時期をみて、早めに接種スケジュールを組んで行っていきましょう。

★ 生ワクチンと不活化ワクチン

ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があります。

生ワクチン：接種後次のワクチン接種は4週間後の同じ曜日から摂取可能です。

不活化ワクチン：接種後次のワクチンの接種は1週間後の同じ曜日から摂取可能です。

★ 定期接種と任意接種

接種には定期接種と任意接種の2種類があります。

定期接種は基本的に無料です。

任意接種は基本的に有料ですが、自治体によって助成がある場合があるため保健センター等で確認が必要です。

★ 予防接種の種類

不活化	ポリオ（単独）	定期	不活化	日本脳炎	定期
生（経口）	ロタウイルス	任意	生	おたふくかぜ	任意
不活化	ヒブ（Hib）	定期	生	みずぼうそう（水痘）	任意
不活化	小児用肺炎球菌	定期	不活化	インフルエンザ	任意
不活化	四種混合（DPT-IPV）	定期	生	麻疹・風疹混合（MR）	定期
生	BCG	定期	不活化	B型肝炎	任意
不活化	三種混合（DPT）	定期			

* 医師が必要と認めた場合、同時に複数のワクチンを接種することもできます。詳しくは医療機関にご相談ください。

* ロタウイルス・BCG以外の生ワクチンは1歳以降の接種になります。

* B型肝炎ワクチンに関して、母親がB型肝炎キャリアの場合は生後1週間以内に免疫グロブリンの注射をします。以後は小児科外来でワクチン接種になります。

ご注意：妊婦の方へ

妊婦健診で風疹抗体価が低いと言われた方は積極的に予防接種を受けてください。